

第 6 2 期

事 業 報 告 書

2 0 2 0 年 度

自 2 0 2 0 年 4 月 1 日

至 2 0 2 1 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 東京生化学研究会

I. 事業概要

(1) 事業計画・実績

2020年度決算 予算実績比較 (TBRF 研究助成事業)

事業	計画	実績
1. 研究助成 (定款第5条第1項第1号)	■ 研究助成金 1件200万円 15件 (内訳) ・ 2020年度 (1年目) 7件 ・ 2019年度 (2年目) 8件 計 3,000万円	■ 研究助成金 1件200万円 23件 (内訳) ・ 2020年度 (1年目) 15件 ・ 2019年度 (2年目) 8件 計 4,600万円
	■ 研究奨励金 - I 1件150万円 22件 計 3,300万円	■ 研究奨励金 - I 1件150万円 25件 計 3,750万円
	■ 研究奨励金 - II 1件150万円 10件 計 1,500万円	■ 研究奨励金 - II 1件150万円 13件 計 1,950万円
	研究助成計 : 7,800万円	研究助成計 : 10,300万円
2. 国際共同研究助成 (定款第5条第1項第2号)	■ 国際共同研究助成金 1件 550万円以内 (共同研究助成金150万円含) 12件 (継続5件、新規7件)	■ 国際共同研究助成金 1件 550万円以内 (共同研究助成金150万円含) 12件 (継続6件、新規6件)
	計 : 6,600万円	計 : 5,993万円
3. 奨学補助金助成 (定款第5条第1項第3号)	■ 奨学補助金 1件 (月額7万円、年84万円) 25件	■ 奨学補助金 1件 (月額7万円、年84万円) 25件
	計 : 2,100万円	計 : 2,100万円
4. 派遣及び招聘補助 (定款第5条第1項第4号)	■ 海外派遣・招聘補助金 1件 50万円以内 10~14件	■ 海外派遣・招聘補助金 1件 50万円以内 4件
	計 : 500万円	計 : 170万円
5. 研究成果の刊行 (定款第5条第1項第9号)	■ 助成研究報告集の刊行 (400部) 320万円	■ 助成研究報告集の刊行 (350部) 255万円
	■ 助成研究報告会の開催 300万円 (150万円は管理費へ)	■ 助成研究報告会は開催中止
上記事業に必要な事業 (定款第5条第3項)	■ 60周年記念行事 1,000万円 (300万円は管理費へ)	■ 60周年記念行事 令和4年3月に開催予定

2020年度決算 予算決算比較 (CHAAO がん研究学術振興事業)

事業	計画	実績
1. 国際シンポジウムの開催 (定款第5条第1項第5号)	<p>■ IAA02020開催ほか</p> <p>① IAA02020の中止 300万円</p> <p>② IAA02021の準備 200万円</p> <p>③ IAA02018記録集 360万円</p> <p>計 860万円</p>	<p>■ IAA02020開催ほか</p> <p>① IAA02020の中止 11万円</p> <p>② IAA02021の準備 227万円</p> <p>③ IAA02017・2018 記録集 120万円</p> <p>計 358万円</p>
2. フォーカスシンポジウムの開催 (定款第5条第1項第5号)	<p>■ 地方大学等を対象に世界のがん研究・治療の講演会開催等</p> <p>400万円</p>	<p>■ 地方大学等を対象に世界のがん研究・治療の講演会開催等 開催予定会場キャンセル費用発生</p> <p>140万円</p>
3. 海外研究者招聘補助 (定款第5条第1項第5号)	<p>■ 日本癌学会等に参加するアジア諸国の若手研究者の助成</p> <p>375万円</p>	<p>■ 日本癌学会、日本臨床腫瘍学会に研究発表目的に参加するアジア諸国の若手研究者への招聘補助 日本癌学会はオンサイト・オンライン併用によるハイブリッド形式で開催により補助。日本臨床腫瘍学会は完全On-Line開催となり補助なし。</p> <p>225万円</p>
4. 教育コース派遣 (定款第5条第1項第6号)	<p>■ 日本の若手基礎研究者等を米国の若手がん臨床研究者養成研修会へ派遣</p> <p>550万円</p>	<p>■ 日本の若手基礎研究者等を米国の若手がん臨床研究者養成研修会へ派遣は中止(選考委員会開催) 候補者選考審議費用は発生</p> <p>17万円</p>
5. JCA-CHAAO賞の表彰 (定款第5条第1項第7号)	<p>■ 日本癌学会学術賞の1つとして共同で創設</p> <p>540万円</p>	<p>■ 日本癌学会学術賞の1つとして共同で創設。褒章に係る費用及び受賞記念講演開催費</p> <p>417万円</p>
6. 教材資料の作成 (定款第5条第1項第9号)	<p>■ 「抗腫瘍薬一覧表2020年度」</p> <p>■ 「抗腫瘍薬一覧表2020ポケット」</p> <p>390万円</p>	<p>■ 「抗腫瘍薬一覧表2020年度」</p> <p>■ 「抗腫瘍薬一覧表2020ポケット版」</p> <p>400万円</p>
上記事業に必要な事業 (定款第5条第3項)	<p>■ その他共通費</p> <p>217万円</p>	<p>■ その他共通費</p> <p>112万円</p>

2020年度決算 予算実績比較 (CHAAO 患者会活動支援事業)

事業	計画	実績
1. 日本がん患者会議 の開催 (定款第5条第1項第8号)	■ FFJCP2021 ① FFJCP2021の開催 1,230万円 ② FFJCP2021の準備(グループミーティングの開催等) 100万円 ③ FFJCP2020の記録集 180万円 計 1,510万円	■ FFJCP2021 ① FFJCP2021の開催(完全オンラインによる開催) 336万円 ② FFJCP2021の準備(グループミーティングの開催等) 3万円 ③ FFJCP2020の記録集 170万円 計 509万円
2. エリアセミナーの開催 (定款第5条第1項第8号)	■ 地方における患者会の学習、 経験交流を支援する小規模会議 等を主催または共催 計 50万円	■ 地方における患者会の学習、 経験交流を支援する小規模会議 等を主催または共催 計 46万円
上記事業に必要な事業 (定款第5条第3項)	■ その他共通費 計 71万円	■ その他共通費 計 48万円

(2) 事業内容

公益目的事業1

1. 研究助成（定款第5条第1項第1号）

薬物治療並びに新医薬品の創製に関する基礎的・応用的研究に関し独創的内容を有する研究を行い、注目すべき業績をあげつつある研究者並びに意欲的に取り組もうとする若い研究者に対し、それぞれ研究助成金並びに研究奨励金を贈呈した。

■ 2020年度 研究助成・総額 10,300万円

① 研究助成金

[募集方法] 公募研究テーマ（3テーマ）により公募

[助成金額] 総額 4,600万円（1件 400万円を2回に分けて交付：年額 200万円）

2020年度（初年度） 15件

2019年度（第2年度） 8件 計 23件

[選考方法] 選考委員会Aで候補者の選考を行い、理事会で決定

② 研究奨励金-I

[募集方法] 公募研究テーマ（3テーマ）により公募

40歳未満の若い研究者を対象

[助成金額] 総額 3,750万円（1件 150万円 25件）

[選考方法] 選考委員会Aで候補者の選考を行い、理事会で決定

③ 研究奨励金-II

[募集方法] 独立して新しい研究室を立ち上げた若い研究者（原則として45歳未満）を対象に公募

財団の目的に沿った研究テーマであれば、特にテーマに制限はない

[助成金額] 総額 1,950万円（1件 150万円 13件）

[選考方法] 選考委員会Aで候補者の選考を行い、理事会で決定

2. アジア地域研究者招聘による国際共同研究助成（定款第5条第1項第2号）

わが国とアジア地域の研究者による薬物治療並びに新医薬品の創製に関する共同研究を助成する目的で、アジア地域より若い研究者をわが国の大学・研究機関に招聘し、1～2年間滞在費その他を支給するとともに、受入研究者に研究助成金を贈呈した。

[募集方法] 公募（申請は国内の受入研究者による）

原則として40歳未満のポストドクを対象

[助成金額] 総額5,993万円 12件（継続6件、新規6件）

（助成金の内訳）

①招聘研究者：滞在費月額32万円（住宅手当含む）、往復航空券（実費）、
渡日一時金20万円、家族手当5万円、海外旅行保険料年額約20万円ほか

②受入研究者：共同研究助成金 150万円（年額）

[選考方法] 選考委員会Bにおいて候補者の選考を行い、理事会で決定

3. 奨学補助金助成 (定款第5条第1項第3号)

わが国の大学等研究機関において、薬物治療並びに新医薬品の創製に関する研究に精力的に従事する大学院生もしくは大学院研究生を対象とし、奨学補助金を給付した。

給付は、2年間を限度とし、返還の義務はない。

[募集方法] 公募

[助成金額] 総額 2,100 万円 (25 件、月額 7 万円、年額 84 万円)

[選考方法] 選考委員会Cで行い、理事会で決定

4. 海外派遣・招聘補助金 (定款第5条第1項第4号)

海外で開催される、薬物治療並びに新医薬品の創製に関する国際会議への研究者の派遣並びにわが国で開催される同様の国際会議への海外研究者の招聘に関し、旅費及び滞在費などの経費を補助した。

[募集方法]

- ・申請時期 年度の前半期(4~9月)と後半期(10~3月)の2回
- ・申請者 派遣の場合: 当事者本人
招聘の場合: 会議の会長(学会長もしくは実行委員長)
- ・招待講演並びに特別講演を行う研究者を対象(一般の口頭発表、ポスター発表は対象外)

[助成金額] 総額170万円

招聘補助金 4件 170万円

招聘補助金 1件 △34.5万円*

(*2019年度分・学会中止により2020.4月に返金)

[選考方法] 選考委員会Cで候補者の選考を行い、理事会で決定

5. 助成研究報告集の刊行 (定款第5条第1項第9号)

- ・2019年版助成研究報告集(非売品)を350部作成中。医学・薬学系大学、学術研究機関等及び財団関係者に無料で3月配布。(作成費用:255万円)

上記事業関連(定款第5条第3項)

- ・助成研究報告会(第25回アジア地域招聘研究者研究発表会)の中止

COVID-19(新型コロナウイルス)の国内感染が拡大している状況であったため、中止とした。

公益目的事業2

1. 国際シンポジウム、学術講演会、研修会の開催・支援(定款第5条第5号)

① 国際フォーラム(International Academy for Advanced Oncology;IAAO)・実績 358 万円

(前期支払海外航空券代払戻分△609 万円を雑収益に計上)

日本のがん研究、がん治療の向上を目的に、がん研究の世界トップレベルの研究者・オピニオンリーダーを招聘し、アドバイザリーボードメンバーの推薦に基づいた日本のトップレベルのがん研究や治療を担う基礎・臨床の研究者、がん専門医約 200 名並びに公募にて選考され、理事会で承認された若手研究者 20 名を招待し、情報交流・討議を行う国際会議を開催する。

1) IAAO2020 の開催については、COVID-19 パンデミックにより中止となり、会場キャンセル料が発生した。

2) IAAO2018 記録集の刊行

当初年度末までに発刊予定であったが、編集作業の遅れにより5月に発刊

② フォーカスシンポジウム(Focus Symposium:SF)・実績 140 万円

地方大学、大学病院、がん診療拠点病院、研究所などにおける、がんの基礎・臨床研究の質的・量的向上、さらには地方での標準治療普及の促進を目的に、世界のがん研究・治療の最新トピックスにスポットを当てた講演会の主催又は共催にて開催する。

1) 世界的に COVID-19 の感染拡大があり、6月にシカゴにて予定していた Expert meeting が中止となり、会場キャンセル料発生。その他すべてのフォーカスシンポジウムの開催企画が中止となった。

③ 海外研究者招聘補助・実績 225 万円

日本がアジア諸国におけるがん研究・がん治療の拠点地域となることを目的に、日本癌学会及び日本臨床腫瘍学会各学術集会において、アジア諸国で将来を期待される若手研究者が学術集会に参加し研究成果を発表することを促進するために行っている事業に対し、渡航費、滞在費助成の一部をトラベルgrant、トラベルアワードとして協賛した。

1) 日本癌学会学術集会(2020年10月1日-3日)に225万円賛助

2) 日本臨床腫瘍学会(2021年2月18-20)は完全 On-Line 開催となり、海外からの若手研究者の発表に係る旅費の発生がないためトラベルアワードは発生しなかった。

2. 教育コース派遣(定款第5条第1項6号)・実績 17 万円

日本の若手基礎研究者・臨床研究者の育成並びに海外研究者との人的・研究ネットワーク形成を目的に、米国の Society for Translational Oncology (STO) が主催する若手がん臨床研究者養成研修会(STOFF)に派遣候補者を選考委員会 D にて選考し、理事会で決定して派

遣する。

2020年4月22日に選考委員会Dにて3名の候補者を選考したが、STO主催者事務局より米国でのCOVID-19の感染拡大により、2020年度のSTOを中止する連絡があった。後日2021年度は、2022年の第1Qに開催予定との連絡があった。

3. JCA-CHAAO 賞の表彰(定款第5条第1項7号)・実績 417 万円

日本癌学会学術賞の一つとして日本癌学会と共同で創設した賞で、「日本初の新たな抗がん剤・治療法に関する研究・開発を行い、がん医療の発展に多大に貢献する成果物を創出した個人又はグループの功績を称え、今後のがん研究の一層の振興を図る」ことを目的に、日本癌学会が公募を行い表彰し、後日、受賞記念講演会を開催する。

第10回 JCA-CHAAO 賞授賞式

受賞者:直江知樹先生(国立病院機構名古屋医療センター)、横田昇平先生(藤谷医院)、
清井仁先生(名古屋大学大学院医学系研究科)

テーマ:FLT3 変異の発見と標的治療薬の研究

日時:10月3日

会場:リーガロイヤルホテル広島(日本癌学会学術集会総会)

第10回 JCA-CHAAO 賞受賞記念講演会

日時:12月8日 4:30pm-6:00pm

会場:東京ステーションホテル

参加者:33名(受賞者及び関係者4名、日本癌学会理事・監事、事務局14名、当研究会理事、職員15名)。

4. 教材資料作成(定款第5条第1項9号)・実績 400 万円

がん研究、がん治療の資料や教育資料として活用するための各種冊子・印刷物を作成・出版した。出版された各資料は、各がん関連学会又はセミナー等の機会に直接無償配布を行うほか、ホームページからも広く受付配布した。

抗腫瘍薬一覧表・ポケット版

厚生労働省の承認を受けた抗がん剤の商品名、一般名、適応症、副作用を専門医が監修のもと簡潔にまとめた「抗腫瘍薬一覧表 2020 年度版」を6月に発刊した。同時に携帯用に「抗腫瘍薬一覧表 2020 ポケット版」も発刊し、希望者に無償提供した。

公益目的事業 3

1. 日本がん患者会会議 (FFJCP2021) 開催 (定款第5条第1項8号) ・実績 509 万円

日本のがん患者会の代表者が活動経験の交流、活動課題の学びの場を提供し、患者の視点を日本のがん医療に反映させるといった目的で、最新の医療情報の収集及び意見交換を行う会議を開催した。

開催後には記録集を作成し、全国のがん患者会やがん相談支援センターなどに広く無償配布を行った。

- ① FFJCP2021の開催
- ② FFJCP2020 記録集発刊

2020年1月に開催したFFJCP2020記録集を6月に発刊し、参加者、所属団体及び希望患者会に約2,000部を無料送付した。

2. エリアセミナー開催 (新定款第5条第1項8号) 実績 46 万円

地方での患者会の学習ならびに経験交流を支援する目的で、FFJCPのフィードバックや小規模な勉強会・会議を共催にて行った。

山梨がんフォーラム

日時:2020年10月8日

場所:山梨県立図書館